

銭形平次捕物控 人肌蜘蛛（1956）

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 Color

時間 82分

初公開日 1956/08/14

【解説】

長谷川一夫と市川雷蔵が「幽霊大名」以来の共演を果たした「銭形平次捕物控」シリーズ第10作。脚本は「四谷怪談」の小国英雄、監督は「まらそん侍」の森一生が担当した。シリーズ初のカラー作品であり、錦絵や刺青などカラーを意識した画面づくりがなされている。

流人の松五郎と新吉が牢を破り佃島から逃亡を図った。松五郎は海中で撃たれて死亡、翌朝には背中に蜘蛛の刺青を入れた男性の遺体が発見される。上州から出てきた新吉の弟の新次郎は隅田川で上総屋の奉公人お絹と知り合う。新吉と松五郎は三年前、材木を不当に買い占めて利益を得ていた上総屋喜兵衛や尾張伝右衛門らに罪を着せられ、佃島に流されていたのだった。銭形平次は事件の真相を追うが、再び事件の関係者が殺害され…。

【クレジット】

監督 森一生

製作 永田雅一 [製作]

企画 浅井昭三郎

原作 野村胡堂

脚本 小国英雄 Hideo Oguni

撮影 杉山公平

美術 西岡善信

音楽 斎藤一郎

出演 長谷川一夫

市川雷蔵

堺駿二

東野英治郎

山本富士子

阿井美千子

矢島ひろ子

中村玉緒

入江たか子